

ベーシックコース

主担当：専任研究員 鈴木 進吾

	11月6日(月)	11月7日(火)	11月8日(水)	11月9日(木)	11月10日(金)
(9:30-10:45) 1限		<p>ライフライン被害の様相 高田至郎 神戸大学工学部教授 ・阪神・淡路大震災におけるライフラインの被害様相と復旧過程、市民生活への影響を知る</p>	<p>災害をもたらす自然現象の理解(地震・火災) 越山健治 照本清峰 専任研究員 ・地震及び火災の発生メカニズムを理解する ・予防対策はハザードごとに異なることを理解する</p>	<p>災害過程論 木村玲欧 名古屋大学大学院環境学研究科地震火山・防災研究センター助手 ・地震発生後に生じる時間フレームごとの現象と課題を学ぶ</p>	<p>被災社会の様相 松原一郎 関西大学社会学部教授(学部長) ・被災した社会の一般的な特性について様々な災害事例を通じて理解する</p>
(11:00-12:15) 2限	<p>(10:50~11:15) 開講式 (11:15~12:30) オリエンテーション 鈴木進吾 専任研究員</p>	<p>危機管理総論 林春男 上級研究員 ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する</p>	<p>災害をもたらす自然現象の理解(土砂災害) 沖村孝 上級研究員 ・土砂災害の危険性の性質と対策事例を学ぶ</p>	<p>災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 中川一 京都大学防災研究所教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解する</p>	<p>災害関連法体系基礎 山崎栄一 大分大学教育福祉科学部助教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を知る ・災害関連法体系の全体像と守備範囲を知る</p>
(13:30-14:45) 3限	<p>センター展示施設見学ワークショップ 鈴木進吾 専任研究員 ・市民の視点から行政は何を行うべきかをワークショップを通じて学ぶ ・参加者との意見交換から、立場による考え方の違いを学ぶ</p>	<p>阪神・淡路大震災における行政の対応 松原浩二 兵庫県防災計画課長 片瀬範雄 神戸市都市整備公社専務理事(元神戸市中央区長) 厚見和範 西宮市防災対策課長 ・震災発生直後の対応状況と出てきた課題を学ぶ ・都道府県と市町村災害対応の違いを理解する ・討論を通じて災害発生後に対応しなければならぬ課題と対応の考え方の理解を深める</p>	<p>都市の復興①概論 小林郁雄 上級研究員 ・阪神・淡路大震災の被災地の復興過程と様々な取り組みを学ぶ</p>	<p>リスクコミュニケーション概論 吉川肇子 慶応義塾大学商学部助教授 ・防災対策策定に関して平常時から住民とコミュニケーションをとる考え方を学ぶ</p>	<p>地域防災計画論 永松伸吾 専任研究員 ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を学ぶ</p>
(15:15-16:30) 4限			<p>都市の復興②巡検 小林郁雄 上級研究員 ・被災地の取り組み、まちづくりの過程について具体的な事例を学ぶ ・現地見学を通じて学習するとともに、意見交換を行う</p>	<p>災害をもたらす自然現象の理解(津波) 原田賢治 専任研究員 ・津波発生のメカニズムと我が国における津波防災の現状、今後の方向性を学ぶ</p>	<p>(15:00~16:15) 参加者と専任研究員討論会 専任研究員</p>
	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム		(16:30~17:00) レポートタイム	(16:15~17:00) レポートタイム (17:00~17:15) 閉講式

マネジメントコース: エキスパート(EA)

主担当: 専任研究員 平山 修久

	10月16日(月)	10月17日(火)	10月18日(水)	10月19日(木)	10月20日(金)
9:30 10:45 1限		国の災害対応① 諏訪五月 内閣府政策統括官(防災担当)付災害応急対策担当参事官補佐 ・災害時要援護者ガイドラインの内容・考え方、地方自治体に期待すること	災害対応概論(応急期) 越山健治 専任研究員 ・応急対応期の対応と課題について	危機対応時の組織論(トップの対応) 遠藤勝裕 日本証券代行株式会社取締役相談役 ・阪神・淡路大震災でのトップの災害対応、危機管理に対する心得	市民社会ワークショップ 立木茂雄 上級研究員 山本康史 HIR-HORANET/ネットワークみえ代表 平野昌 HIR-HORANET/ネットワークみえ事務局(三重県政策部東紀州対策局主幹) ・災害時の被災社会の対応において、市民の力の持味や行政との関係のあり方について
11:00 12:15 2限	(10:50~11:15) 開講式 (11:15~12:30) オリエンテーション 平山修久 専任研究員	国の災害対応② 藤田和久 総務省消防庁防災課震災対策専門官 ・消防庁における災害対応体制を理解する ・初動対応としての役割と危機管理体制の取り組み	災害事例ワークショップ② 平山修久 専任研究員 ・グループごとにお話ししたことを発表する	防災計画・マニュアルの考え方 目黒公郎 上級研究員 ・災害対応に活かすことができるマニュアルについて	
13:30 14:45 3限	災害対応概論(対応業務総論) 近藤伸也 専任研究員 ・防災部局の災害発生時の業務を理解するとともに、阪神・淡路大震災における災害対応業務の時間的流れについて	災害対応概論(初動期) 近藤民代 専任研究員 ・初動対応時の対応と課題について	国の災害対応③ 片桐昌二 厚生労働省社会・援護局総務課災害救助・救済対策室災害救助専門官 ・災害救助法の運用と応急救助への考え方、取り組み	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川豪 京大大学生存基盤科学研究ユニット助手 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の必要性等について	研究員討論会 専任研究員
15:15 16:30 4限	災害事例ワークショップ① 平山修久 専任研究員 ・阪神・淡路大震災を事例に災害対応について具体的な業務を考える事により、防災部局の災害対応業務の理解を深める	災害対応各論(医療活動) 山本保博 上級研究員 ・災害現場の医療活動体制について	災害対応概論(復旧・復興期) 中林一樹 上級研究員 ・復旧・復興期の対応と課題について	危機対応時の組織論(情報提供・マスコミ対応) 安富信 読売新聞大阪本社編集委員 川西勝 研究調査員 ・災害時の情報の公表方法、マスコミ対応の課題について	(14:45~15:30) レポートタイム (15:30~15:45) 閉講式
	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	

マネジメントコース:エキスパート(EB)

主担当: 専任研究員 堀江 啓

	10月23日(月)	10月24日(火)	10月25日(水)	10月26日(木)	10月27日(金)
(9:30-10:45) 1限		被害認定業務 堀江啓 専任研究員 ・被害認定業務を通して阪神・淡路以降の知見が最近の災害でどのように活かされているかについて	災害情報共有手法 東田光裕 西日本電信電話株式会社 兵庫支店主査 ・情報共有の具体的方法について	被害想定基礎論 荻本孝久 神奈川大学工学部教授 ・地震被害の予測技術について	阪神・淡路大震災の復興まちづくりにおける法制度上の課題 西野百合子 弁護士 津久井進 弁護士 安田捷 司法書士 (阪神・淡路まちづくり支援機構)・阪神・淡路大震災における法制度適用の実態とその問題、課題について
(11:00-12:15) 2限	(10:50~11:15) 開講式 (11:15~12:30) オリエンテーション 堀江啓 専任研究員	災害対応従事者の業務管理論 岩井圭司 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授 ・災害対応業務を行ううえでマインドケアについて	非公共機関の災害対応五辻活 パルシステム生活協同組合連合会災害対策専門員 ・災害時における公共機関以外の組織との連携について	行政業務の評価手法 山谷清志 同志社大学政策学部教授 ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について	業務継続計画論 丸谷浩明 京都大学経済研究所教授 ・災害時において対応することになる各公共機関の主な役割と概要、BCMの考え方について
(13:30-14:45) 3限	標準的な災害対応システム論 林春男 上級研究員 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について	災害対策本部の空間構成設計演習 牧紀男 京都大学防災研究所助教授 元谷豊 特定非営利活動法人環境・災害対策研究所主任研究員 ・災害対策本部のレイアウト方法について学習し、実際にレイアウトを作成する	阪神・淡路大震災における初動体制とあり方 吉井博明 東京経済大学コミュニケーション学部教授 ・阪神・淡路大震災時の情報提供のあり方、情報システムの課題について	災害対応データベースを用いた演習 矢守克也 震災資料研究主幹 京都大学防災研究所助教授 ・災害対応時における優先順位付け、阪神・淡路大震災の事例を通して災害対応業務として構築する方法について	さまざまな災害への対応と教訓 青砥謙一 兵庫県住宅供給公社理事長、前兵庫県防災監 ・BSE、SARS、鳥インフルエンザ、原子力災害などのリスクの特殊性とその対応について
(15:15-16:30) 4限	都市巨大災害論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する		被害予測活用法 藤原広行 独立行政法人防災科学技術研究所防災システム研究センター主任研究員 ・地震被害の予測技術と活用方法について		(15:00~16:15) 研究員討論会 専任研究員
	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:30~17:00) レポートタイム	(16:15~17:00) レポートタイム (17:00~17:15) 閉講式